

日本とベトナム

アン・ベツト

ある日父が寝る前に物語を語ってくれました。その物語は強くて、きれいな国についてでした。父はその国は資源が少なく、天災がたくさんある国だと言いました。私はその国はかわいそうだと思いました。しかし、実際は逆でした。その国は弱くありませんでした。たびたび天災があっても時間がたつともっと強くなりました。それに人々はとてもやさしくて、きれいです。その国は日本でした。物語は寒い冬を暖かくしました。私はぐっすり寝ることができました。その次の日からいつか日本へ行って日本で勉強し、日本に住みたいと思うようになりました。それが私の夢になりました。四か月前の三月十三日に日本へ来ました。それは私の夢の最初の第一歩でした。日本はベトナムと比べて全然違いました。

今私は日本語を勉強しています。約三か月

かたちでしたが、まだ日本に慣れていません。
特に気候です。涼しいので、朝目覚まし時計
があっても、なかなか起きられません。実は
日本へ来たばかりのころはとても寒かったで
す。それに学校もありませんでしたし、目覚
まし時計もなかったのので、だんだん朝遅く起
きるようになりました。でも、今私はねぼろ
しません。夏が来たからです。ベトナムは日
本より暑いのです。ですから、毎日5時半に起
きて、学校へ行っていました。今とは全然違
います。私は毎日自転車で学校へ行っていま
す。日本は電車が多く、とても便利ですが、
私は電車のお金もったいないので乗りませ
ん。でも、それは私にとってチャンスです。
日本の道や町を知るチャンスなのです。日本
の道は広くて、人が少なくて自転車で走りゆ
きやすいです。それに景色がいいです。ベトナム
は人が多くて、バイクばかり走っています。
それに道が狭いです。広い道がありませんの
で、いつも道は込んでいます。とても大変で

す。

私は日本の料理が大好きです。特にラーメンが大好きです。一週間に一回ラーメンを食べに行きます。お金があれば、毎日でもラーメンが食べたいです。日本は物価が高いです。ベトナムの物価は日本の二、三分の一です。それで何か買う時にはいつもよく考えます。

私は今たくさん食べたいですが、できません。ベトナムの母の料理や屋台の食べ物を思い出しています。夏休みにベトナムに帰ったら、絶対たくさん食べます。そして、たくさんのお物を買うつもりです。

もう一つ大好きな物があります。それはこの人々です。日本人はやさしくて、きれいです。ある日私は道を間違えました。その日は入学試験がある日でした。日本語もわからないし、地図もなかったのて、困っていると知らないきれいな女の子の人が笑いながら来て、助けをくれました。私の日本語はとてもへたでしたが、その女の子はわかってくれました。

そして、私を学校まで連れてきてくれました。
とてもはずかしかっただです。それに私はその
女の人の名前を聞かなくて、とても残念
念でした。その人は本当にすてきな笑顔でし
た。日本人はいつも笑っています。それが日
本人を、ときどきにしています。ベトナム
人も日本人と同じでよく笑います。日本人も
ベトナム人も全部いい人です。私は日本が大
好きです。いっしょにけんめい勉強して、日
本に長く住めたらいいなあと思っています。